



ちよだ生物多様性推進プラン

～皇居から広がる生きもののネットワーク～
自然と共生した都心のまちをめざして

ちよだ生物多様性推進プランは、自然との共生による地域社会の持続的な発展をめざして、区内外の生物多様性を保全するとともに、千代田区に住み・働き・学ぶだれもが生物多様性を意識して行動するための計画です。

千代田区



ちよだ生物多様性推進プランの策定にあたって

私たち人類は、自然界の多様な環境や多様な生きもの、それらの多様なつながりの中で、様々な恩恵を受けて生きてきました。その地球上の生きものや生態系が深刻な危機に瀕していると言われています。この生物多様性の問題は、自然資源の豊かな地域だけの問題ではなく、自然の恵みを享受して生活している全ての人々が取り組むべき課題です。

とりわけ日本の政治、経済、文化、情報の中心地として変化し成長し続けてきた千代田区は、高度機能集約都市へと日々更新を続けていますが、その社会経済活動や区民生活に不可欠な、資材やエネルギー、食べ物、水などのほとんどすべてを、国内外の生態系から生み出される自然の恵みに依存しています。生物多様性の問題に取り組むことは、千代田区の使命であると言っても過言ではありません。

千代田区には東京23区随一の豊かな自然を有する皇居があります。皇居から広がる貴重な自然は、区民生活に潤いを与え、まちの魅力となり多くの人々の心を惹きつける快適な空間となっています。皇居を核とする生き物のネットワークを周辺に広げていくことは、千代田区をとりまく周辺地域の生態系の向上につながります。

そして、次世代に豊かな自然環境を引き継ぎ、豊かな自然の恵みを実感できる社会を実現するために、千代田区に住み、働き、学ぶ区民一人ひとりが生物多様性の視点を持って行動することが重要です。

千代田区はこれまで地域ごとに培われた歴史と伝統を大切にしながらまちづくりを進めてまいりました。今後は、この「ちよだ生物多様性推進プラン」をもとに、地域の特性に応じ、変化し続けるまちの「新」と「旧」の調和を保ちながら、生物多様性に配慮したまちづくりを進めてまいりたいと思います。

本プラン策定にあたって、多大なるご協力をいただきました「千代田区生物多様性推進会議」委員をはじめ、様々な意見をお寄せいただいた区民、事業者、関係機関の皆様方に、心よりお礼申し上げます。



平成25年3月

千代田区長 石川雅己

目次

第1章 “ちよだ生物多様性推進プラン” 策定の背景	1
1.1 私たちの暮らしを支える自然の恵み	1
1.2 だれもが関わりをもつ生物多様性	2
1.3 国内外の動向	3
1.4 千代田区で生物多様性の保全に取り組む意義	5
第2章 千代田区の生物多様性の現状と課題	8
2.1 千代田区の環境	8
2.2 千代田区の生物多様性の現状	12
2.3 千代田区の生態系や私たち一人ひとりが抱える課題	26
第3章 基本的な考え方と目標	29
3.1 ちよだ生物多様性推進プランの位置付け	29
3.2 対象区域	29
3.3 目標年	30
3.4 長期目標	30
3.5 エリア別の将来像	31
3.6 短期目標	34
第4章 行動計画	35
4.1 千代田区の主な役割	35
4.2 各主体の主な役割	35
4.3 行動計画とその体系	38
4.4 具体的な行動	39
第5章 推進体制と進行管理	55
5.1 推進体制	55
5.2 進行管理	55
資料編	57
1 ちよだ生物多様性推進プラン策定の経緯	58
2 用語解説	63

コラム・取組事例

◆生態系サービスと私たちの暮らし	4
◆全ての生きものを守らなければならないの？	6
◆生物多様性保全の取組みが地域にもたらす恵み	7
◆牛ヶ淵のホタル	23
◆生態系に影響を及ぼす生きものたち-外来生物ほか	28
◆千代田区のアダプトシステム	40
◆生物多様性評価の事例	44
◆区内の生物多様性に関する取組事例（企業）	45
◆飼い主のいない猫の去勢・不妊手術助成事業	47
◆ペットを野外に捨てないで！	48
◆野外の生きものに餌を与えないで！	49
◆区内の生物多様性に関する取組事例（環境省・東京都）	50
◆千代田区さくらサポーター制度・公益信託さくら基金助成事業	52
◆区内の生物多様性に関する取組事例（環境保全団体・大学など）	53